

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第19回定例会 (平成25年12月定例会)

議案等の審議	2	議員活動報告	12
一般質問 (6人)	4	五戸総合病院検討委員会	13
第20回臨時会	10	議会質問コーナー	14
議会傍聴者アンケート結果	10	議会報告会の結果	15
県外行政調査研修	11	議会報告会の様子・編集後記	16

議会広報
平成26年2月
第10号



上市川小学校6年生議場見学



平成25年11月15日、昨年に引き続き上市川小学校6年生16人が議場の見学に訪れました。

実際の議場を見学し、今後の勉強に役立てていただきたいと思います。

この中に将来の五戸町議会議員がいるかもしれませんね。

第19回 平成25年12月 定例会

12月定例会は、12月12日から17日までの6日間の会期で開催しました。

6人の議員が一般質問を行ったほか、陳情1件、議会から1件の案件、町長から補正予算や条例の制定など25件の議案が提出されました。

陳情 1件

- 「介護保険制度改革の中止を求める意見書」の提出を求める陳情
- ・民生常任委員会へ付託

民生常任委員会の 審査結果

採択すべき

議会提出案件

意見書の提出 1件

- 「介護保険制度改革」の中止を求める意見書

審議の結果

全員賛成で可決

内閣総理大臣ほか関係省庁へ意見書を提出しました。

企業誘致のため奨励金を 交付する条例を制定

町長提出案件

条例の制定 4件

- 五戸町企業立地推進条例
- ・五戸町において工場、事務所等を新設または既存の工場、事務所等の拡張をする場合、奨励金を交付するための基準等を制定。

質疑

質 大久保議員

基準が投下固定資産総額2700万円以上となっているが、根拠は。

答 新井田企画振興課長

「五戸町過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例」において、固定資産の免除に関する金額を2700万円としているため。

企業誘致のため奨励金を 交付する条例を制定

質 川崎議員

複数の企業が申請してきた場合の順位は。

答 新井田企画振興課長

順位は定めていないため、基準を満たしていれば交付する。

●五戸町認可地縁団体印鑑条例

町長の認可を受けた地縁による団体（自治会等）が、印鑑の登録及び証明書の発行を得るための条例。

自治会等が認可地縁団体となることにより、自治会所有の自治会館など代表者の個人名義や役員の共有名義で登記されていたものを団体名義（自治会）で登記できるようになり、代表者の変更等による所有権の移転などの問題が解消されます。

●土地改良事業の施行

平成25年台風第18号により被災した農地・農業用施設の災害復旧事業を行うもの。

●五戸町農業集落排水事業減債基金条例

・農業集落排水処理施設事業で借入している下水道事業債（借金）返済の財源とするための基金を設置。

審議の結果

全員賛成で可決

消費税増税に伴う条例の改正

条例の一部改正 10件

- 五戸町行政財産目的外使用料徴収条例の一部改正
- 五戸町病院事業の設置等に関する条例の一部改正
- 五戸町簡易水道事業等給水条例の一部改正
- 夢の森ハイランド条例の一部改正
- 五戸町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 五戸町法定外公共物管理条例の一部改正
- 五戸町都市公園条例の一部改正
- 五戸町下水道条例の一部改正
- 五戸町公民館条例の一部改正
- ・9件はすべて消費税率が平成26年4月1日から改正されることによる消費税の増額。

●五戸町社会教育委員設置条例の一部改正

・社会教育委員の委嘱基準に関する事項を追加。

審議の結果

全員賛成で可決

議案等の審議

移動式の防災行政無線のデジタル化に3億8000万円 基地局・中継局・消防団用無線機を更新

補正予算 10件

●一般会計補正予算(第4号)

- ・予算総額(補正後) 110億1472万9千円
- ・補正額(増額) 4億7936万8千円

円以下のものは地方債の対象にならないため地方債を減額し、一般財源とするもの。ただし、統合により閉校となる小学校にまだ使える備品があることから備品購入費を1320万円減額するもの。

- ・防災行政無線移動系更新工事費 3億8000万円
- ・病院事業会計負担金 1億2086万円

② 備品を除いた工事費は22億円を見込んで

いる。財源内訳は、国からの負担金7億円、合併特例債(借金)14億2500万円、町7500万円。

質疑

質 大久保議員

五戸小学校改築に関する補正について

- ① 地方債(借金)を3930万円減額し、

一般財源を2531万円増額した理由。

- ② 改築に伴う総建設費と財源の内訳は。

- ① 備品1個あたり20万円

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

・予算総額(補正後) 4億2788万9千円

・補正額(増額) 437万円

主な増額
・後期高齢者医療広域連合納付金 442万円

合併特例債とは

対象事業費の95%まで借入することができ、元利償還金(元金と利子を合せて返すお金)の70%が普通交付税として町に入ってきます。

よって、今回の14億2500万円に対して約10億円が国から交付されますので、

実質の町負担額は、約5億円の見込みです。

●国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

・予算総額(補正後) 27億4356万6千円

・補正額(増額) 1億8365万3千円

主な増額
・一般被保険者療養給付費 1億243万円

●介護保険特別会計補正予算(第2号)

●簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

・予算総額(補正後) 23億3951万円

・補正額(増額) 3621万4千円

主な増額
・一般会計繰出金 2758万円

・居宅介護サービス給付費 1000万円

●下水道事業特別会計補正予算(第2号)

・予算総額(補正後) 4億6532万1千円

・補正額(減額) 117万1千円

主な増額
・詳細設計業務委託料 2000万円

主な減額
・管路施設工事費 1800万円

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号)

・予算総額(補正後) 1億4781万9千円

・補正額(増額) 191万4千円

●住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第1号)

・予算総額(補正後) 2400万4千円

・補正額(増額) 725万7千円

主な増額
・一般会計繰出金 509万円

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

・予算総額(補正後) 2685万1千円

・補正額(増額) 263万円

●病院事業会計補正予算(第2号)

・収益的収入(補正後) 28億2923万7千円

・収益的支出(補正後)

28億5414万1千円

主な内容

・一般会計繰入金(増額) 1億2006万2千円

・材料費(減額) 4530万円

・資本的収入(補正後) 2億246万4千円

・資本的支出(補正後) 3億548万2千円

主な内容
・器械備品費(増額) 357万4千円

審議の結果

全員賛成で可決

町以外の規約の変更 1件

●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

・弘前地区消防事務組合の加入による変更。

審議の結果

全員賛成で可決

川崎 七保 議員



町の未来像を
どう考える

質問

五戸町の未来像について、昨年と今年、各3校ずつ閉校している。子供の減少は全国的ではあるが、五戸で特別な取り組みをする気はないか。

三浦町長答弁

現在、町では平成27年度からの五戸町総合振興計画に着手しており、成人と小学生、中学生に今後のまちづくりについてアンケートを行った。今後は結果を分析し、町民参加型のワークショップや、委員会、住民説明会を開催しながら、町民の意見を広く反映し、検討していく。

補助金の獲得に
努力すべき

質問

五戸町の活性化は企業の活性化にかかっていると思う。そのためにも補助金の獲得に努力する必要があると思うが、どう考えているか。

三浦町長答弁

新規事業については、担当課と国の各省庁、県各種団体等と連携を密にし、その事業に合った、あるいは有利な補助金、交付金制度を調査し、制度を活用して事業を執行している。

今後も関係機関と情報交換を図り、積極的に補助金の獲得に努める。

もっと企業誘致に
取り組むべき

質問

企業誘致のために、他市町村では物すごい努力をしているが、町長はそ

れをどう考えているか。

三浦町長答弁

従来からの立地企業に對する税制上の優遇措置に加え、新たな戦略として町独自の企業立地推進条例案を提案した。これから進出を検討している企業、あるいは増設を考えている企業にとって、当町での立地、増設時の選択肢が大きく広がると考えている。また、立地増設をすることにより、雇用もふえると考えている。

養鶏場誘致の経緯は

質問

有限会社ノースランド(養鶏場)への企業誘致努力について、今までの経緯は。

三浦町長答弁

平成25年2月12日付で、有限会社ノースランドより採卵養鶏事業について誘致事業認可に対する協

力依頼文書があった。

町には、企業誘致に関する条例等が整備されていなかったため、関係団体、自治会等への説明会等を開催し、理解を得ることなどの条件をクリアすれば、誘致企業の資格要件を満たすものと認める旨の回答をした。これまでに延べ7回の説明会の開催、2回の既設農場の見学会を実施し、さらには議員の皆さんと一緒に私も採卵農場の視察を行った。

今後のスケジュールは、事業着手予定は平成27年度以降との連絡があった。町としては、地元との禍根を残さぬよう、そして地元の理解が得られるよう、説明会等に対する協力はする。

会社側も引き続き誠意ある対応とともに、事業に対する理解を得られるよう努力をお願いした。

信号機の設置を望む

質問

県道橋向五戸線上の死亡事故現場のその後の経過は。

三浦町長答弁

町長と議会議長の連名で、信号機設置の要望書を五戸警察署長と県公安委員長に提出した。その後、県警察本部、五戸警察署、三八地域県民局、役場建設課、総務課の立ち会いにより、現地調査を実施した。

最近、現地近くにスパーの建設予定、特別養護老人ホームの建設と、死亡事故発生時に比べ、道路交通環境が変わってきており、信号機設置の機運は高まっていると思

っている。なお、現場の町道側は勾配がきつく、現状よりなだらかにかつ幅員を拡張する道路改良工事が必要となり、そのための用地交渉も必要となっているが、信号機の設置に向けて前向きに進めていく。



信号機の設置を要望している交差点(鍛冶屋窪)

一般質問

尾形 裕之 議員



八戸市との合併は

質問

八戸市との合併は、倉石村との合併を優先し、次に考えるという二段階説を述べていたが、今もそのように考えているのか。

考えているならば、どのように進めるのか。

三浦町長答弁

二段階合併論は、当時の中里八戸市長が言われたことである。

五戸町は既に新郷村、倉石村と合併研究会を立ち上げており、私は二段階合併を選択した。

今でもその考え方に変わりはないが、二段階目がいづつかと明言したことはない。

次なる合併は国の方針、

社会情勢、住民意識を見きわめなければならず、軽々しく言えるものではない。

八戸市長から正式な要請があれば、最初に議員の皆様と相談することになると思う。

五戸まつりと三社協議会の関係は

質問

五戸町より補助金をもらっている五戸まつり実行委員会は、山車組に製作費を支給している。

公金をもらっている山車組は他の団体に寄附としてはならないと考えるが、町の考えは。

三浦町長答弁

以前も三社協議会への負担金については、各自治会と三社協議会の問題であり、町は関与するものではないと答弁した。

今回は他団体であり前回と実態が違うかもしれない。

ないが、町は関与すべき

ではないと考える。

今年度も五戸まつり実行委員会から各山車組に山車報奨金5万円と夜間山車報奨金2万円を支出している。

同委員会では、各山車組から報奨金の使用内容を文書で回答いただき、使用道の根拠となっていない。

ばおるくんをもっと活用すべき

質問

五戸町のゆるキャラ「ばおるくん」を町ではどのように活用しようと考えているか。

三浦町長答弁

ばおるくんは平成25年2月に五戸町中心商店街活性化事業を利用し、五戸町商工会により中心商店街キャラクターとして製作、デビューし、町商工会が所有、管理している。

商工会の行事はもちろん、町の行事にも積極的に参加している。

また、五戸農商工連携同友会と町内の菓子店が企画製作し、パンケーキの表面にばおるくんを焼印した製品を開発するなど、新たな商品開発として注目されている。

さらに、クリスマスイルミネーション会場にもばおるくんのイルミネーションが飾られるなど、まちづくりにも貢献していただいている。

町では町外に情報発信する媒体を通じ、観光情報などでも積極的に紹介していく。

質問

情報発信を全国にもっと出してほしいと思う。

そのために人件費や旅費も考えなければ、五戸町を思いっきりアピールできないと思うが。

三浦町長答弁

商工会から要望があれば考える。

長寿の町づくりの対策は

質問

青森県は日本一の短命県を返上すべく対策を講じているが、町の考えは。

三浦町長答弁

五戸町の県内順位は、寿命が高い順位から数えて男性は31位、女性は35位で急激に順位を落としている。

要因は、塩分やカロリーの取り過ぎなどの食習慣、冬場などの運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣、健診や病院受診率の低さ、さらには雇用問題、経済力の弱さなども挙げられているが、要因が多過ぎること、また構造的な課題もあり、なかなか具体的な対策を講じることが難しい。

町では、健康長寿の施策を推進していくに当たり、働き盛り世代の健康づくりが柱になると考えている。



商品のPRを手伝うばおるくん

川村 浩昭 議員



番外地の進捗状況は

質問

県道五戸六戸線の番外地、俗に言う盛立は町の中心地であり、重要な道路であると思う。

現在の進捗状況は。

三浦町長答弁

番外地の住宅除却工事は、県道北側の建物の撤去が完了し、現在は南側の住宅の取り壊しに入っており、3月中旬に完了予定。

道路整備については、県が道路災害防除事業として実施することとなっており、平成25年度は町の除却工事と並行して測量、設計を行い、26年度に工事実施の予定。

質問

以前の一般質問の答弁で、接続する沢側の道路も一体とした整備をしたい、展望施設なども要望したいと答えているが、要望したのか。

また、三八地域県民局や五戸町商工会の三者での勉強会は、その後どうなっているのか。

三浦町長答弁

県ではまだ設計の段階で、展望台やそのほかにも要望はしている。

ただし、もともと広い道路ではないので、実際、県と協議しないと何とも言えない状況である。

山下建設課長答弁

三八地域県民局職員との勉強会は開いたが、詳しくは打合せしていない。県の調査・測量の結果を見てから相談したい。

質問

県の調査後、設計図ができてからでは町の要望が入り入れられない可能性があるがあるので、設計図ができる前に要望したほうが効率的だと考える。また、トイレも設置してほしい。

三浦町長答弁

要望は口頭でお願いしているが、町も県も職員の間で異動があるのでうまく通じていなかったかもしれないので、再度確認する。

トイレは、以前調査した結果、適当な町有地が無く、設置できない。



南側の住宅解体工事中 北側の住宅解体は終了

職人や商店の活性化対策は

質問

かつて五戸大工、五戸左官と言われ、県内外においてもその技量のよさは有名で、仕事人として引っぱりだこで町としても訓練学校等を設立、援助しながら活気があった。今日は、長引く不況などで、中・小・零細企業、専門職人たちが転廃業をせざるを得ないという方がふえていると聞くと、活性化に向けた政策は。また、商品券の発行など頑張っていることは感謝するが、そのほか何か施策は。

三浦町長答弁

当町では以前から五戸町特別保証制度保証料補助金制度を設け、町内の中小企業者等に対して、信用保証料を助成する仕組みを整えており、利用者、商工会、金融機関、町が一体となり、利用しやすい環境を整備し、広

く利用されている。また、職人では今年度当町から県卓越技能者に1名表彰された。

今こそ町、商工会、各商店ともに現在の状態を変え、中規模小売店等が持っていない魅力を見出し、古くから築き上げてきた職人技、あるいは商業の活性化に挑む時期に来ており、五戸の商業の魅力を再度掘り起こすとともに、町内外からの集客力を高め、価値観とにぎわいを取り戻すチャンスだと考え、町も支援をしていきたい。

質問

他の町では、町内の商店や大工を使うなどの規約を作り、町単独で補助金を出しているが、そういう考えは。

三浦町長答弁

商工会や建築組合などの団体として要望をいただければ、内容を検討し、実施できるか考える。

一般質問

また、町なかの歩道は幅も狭く、でこぼこも多い。町なかでは歩道を広げることが非常に困難だが、せめて歩きやすいように整備してほしい。

町なかに限らず、歩道整備は簡単なことではないが、数十年先を見据えて、できることから整備していったほうがいい。

このことは、町の魅力アップにもつながると思う。

根森 隆雄 議員



歩道の充実を求める

質問

近年健康志向の高まりで、ウォーキングやジョギングをする人がふえているが、歩道のないところで行っている人も多く見られる。

国道4号線や小学校前の通り、役場前の県道橋向五戸線などは、立派な歩道がついているが、橋向五戸線は二本柳橋を過ぎて町道に変わるとなくなる。

幹線町道の歩道整備は、学校周辺の通学路を優先して補助事業により整備を進めてきたが、その他の町道は、歩道のない道路がほとんどであり、歩行者が安心して通行できるように道路構造にはなっていない。

町道の拡幅については、地権者から用地を提供していただき道路整備を行っており、歩道の整備についても、同様に用地の寄附を前提に道路の利用状況や緊急性を勘案しながら整備を検討していきたい。

三浦町長答弁

ミニ山車の現状は

質問

平成19年に作成されたミニ山車は、その年は役場玄関に飾った後、東京有楽町や三沢空港ロビーに展示するなど活用されたが、翌年以降はどういった利用のされ方をしているのか。

現在はどこにどのような保管されているのか。また、今後の活用についての予定は。

三浦町長答弁

平成19年度は、当役場を初め、首都圏での情報発信として東京都有楽町ビルディングにおいて展示、その後、三沢市の三沢空港での展示等を通じ、当町の祭りに対するイメージ情報として活用した。

平成20年度は、五戸町図書館に展示。

平成21年度以降は、五戸町観光協会に確認したところ、情報発信として



旧又重交流館に保管されているミニ山車

のミニ山車紹介の役目を一旦終えているのが現状である。

現在の保管場所は、旧又重交流館で、山車全体をシートで覆い、大切に保管されている。

保管状態は、見た目には特に大きな損傷はないが、長距離移動の影響や、長期にわたり乾燥状態の中で保管されており、人形等の耐久性等については判断できなかった。

ミニ山車の大きさは通常の山車の3分の1の寸法で製作され、幅120cm、高さ150cm、長さ270cmあり、献花を含めると約330cmになり、展示会場の展示スペースは少なくとも20㎡、約6坪程度必要となる。

また、仮に町外での展示の場合、運搬代も発生する。

今後の活用予定は、仮に展示を中心にする場合、山車全体を点検し、利用できるかの実態調査が必要で、修繕する箇所があればそれなりに費用が発生するが、山車の魅力と価値を損なわず、五戸町の情報PR活動としてどのように利用するか検討したい。

ミニ山車の演題

宇治川先陣争之場

よろいかぶと姿の武者人形2体がそれぞれ愛馬にまたがり先陣を争う場面。

見返り

五条大橋で義経と弁慶が出会う場面。



高山 浩司 議員



教育現場の状況は

質問

政府の義務教育に関する改革案についてどのように考えているか。

高橋教育長答弁

小・中一貫校を行っている学校もあるが、一貫校にしなくても、小学校6年間、中学校3年間の体制で妥当と考える。

質問

分かる子にはより進む方向の教育を施し、分からない子には理解できるまで丹念に教え、落ちこぼれを作らない形の習熟度別の教育が必要では。

高橋教育長答弁

子供たちの感情を傷付

けないよう、最初は一斉授業を行い、途中で10分なり15分を集中的に、分かる子と分からない子に組分けしながら、お互いに学びあい、その子どもに程度に応じた指導が行われている。
基本的には、このような方法で進められて行くと考えている。

質問

町内の小・中学校の教職員の数は妥当か。

高橋教育長答弁

普通学級に特別に支援が必要な児童・生徒が在籍する場合などは、特別支援教育支援員を配置しており、また、県の政策として加配の制度を設けていることから、適正に配置されていると判断している。

質問

給食費の徴収が、先生方の日常の業務に影響があると聞いているが。

高橋教育長答弁

徴収を担当する養護教諭や事務職員に負担がかかっており、できるだけ学校で現金を取り扱わない方策として、口座振込みや口座引き落としという方法は効果的であると考えている。

質問

放課後児童クラブの午後7時まで延長は。

放課後児童クラブの時間延長を

二浦町長答弁

平成26年4月から午後6時30分までの30分延長で実施していきたい。

質問

休み期間中、児童クラブの朝7時からの運営が必要では。

二浦町長答弁

今後、指導員及び保護者の方々の意見を聞きながら、様子を見ていきたい。

企業立地推進条例の積極的なPRを

質問

五戸町企業立地推進条例の周知方法は。

二浦町長答弁

この条例に基づく概要版を作成し、五戸町ホームページ、五戸ちゃんねる、広報このへまちで広報する方法を考えている。また、町内の工業団地で操業している企業、三八上北管内の関係機関を担当課が訪問し、積極的にPRをする。様式の送付を希望する企業や、県内各自自治体への概要版の郵送も考えている。

質問

既存の企業に対する優遇措置の考えはないか。

新井田企画振興課長答弁

既に立地している企業が増設の場合も奨励基準に適合すれば対象となる。

臨時バスの運行を

質問

このへ夏まつりや五戸まつりで臨時バス運行の実証実験を行ってみたい。

二浦町長答弁

町内の公共施設の駐車場は、約350台程度の駐車が可能と思われる。大型バスであれば約13台必要となる。シャトルバスは、行きはスムーズにいったとしても、花火を終えたと一斉に帰ることになるので、十分調査、検討が必要と考えている。

質問

民間企業から営業マンを雇って、企業訪問を行うべきでは。

新井田企画振興課長答弁

今までそのような専門的な職はなかったが、十分理事者と協議しながら検討したい。



冬休み、町立公民館の前で開館を待つ子供たち

一般質問

若宮 佳一 議員



五戸小学校改築工事の状況は

質問

改築工事の進捗状況は。

高橋教育長答弁

進捗状況はほぼ予定通りで、3月20日の完成は十分可能である。

質問

外構工事と放課後児童クラブ館の建設スケジュールは。

三浦町長答弁

外構工事は、平成26年5月から10月上旬までを予定。

放課後児童クラブ館は、平成26年2月に発注予定で、夏休み明けの2学期から使用開始予定。



外観がほぼ完成した五戸小学校の体育館

質問

改築工事対象外の施設整備計画は。

- ①グラウンド周囲の塀・フェンス、排水関係。
- ②スポーツ少年団の部室。
- ③正面正門付近の交差点の改良。

高橋教育長答弁

- ①南側と東側は、樹木の伐採と新たにフェンスを整備予定。
- グラウンドの排水工事は、新年度に調査を

実施し、改修を検討する。

- ②各スポーツ少年団とも自前で整備したものの、あるいは学校施設の一部を借りて使用している現状から、学校と相談のうえ確保していく。
- ③県道と町道の交差点、町道敷地であるので建設課と協議している。歩行者の安全を確保できるように関係機関と協議しながら進める。

質問

校章旗や体育館に掲額される校歌の準備は。

高橋教育長答弁

校章旗は新調し、発注済み。体育館の校歌も新調する。

質問

4校が統合する新五戸小学校だが、教育環境の充実に向けての町長の所見は。

三浦町長答弁

統合した学校に限らず、より重点的に教育環境の充実を図っていく。

また、3月で閉校する3小学校の児童のバス通学には特に配慮したい。学校関係者には、今後統合によるメリットを十分に発揮していただき、何よりも子供たちの学力の向上、また、健全な成長と将来に向かって生きる力を育む教育の一助になればと期待している。

統合後の倉石小学校は

質問

倉石小学校の統合後の反省点や改善すべき点があると思うが、町長は統合をどう感じたか。

三浦町長答弁

運行経路の都合から長時間バスで通学する地域も生じたことから、学校に着くまでに疲れる子供がいるという指摘があり、新年度に向けて改善しなければならぬ。

「医師を作る町」をめざせ

質問

町独自で教育の質・量を考えられないか。

三浦町長答弁

行政として考えられることは、奨学資金の制度の拡充。例えば、貸与額を拡充した特別奨学金枠を設け、医師免許取得後に一定期間、町の総合病院、あるいは町内医療機関に勤務することにより、返還金を減額あるいは免除する制度を設けるなど。また、小・中学校の学校教育制度で、児童・生徒が将来より広く職業選択ができるよう、少しでも学力を向上させてやることが重要だと考える。

質問

誰もが年に1度、定期的な健康診断を受ける「受検の町」づくりを提案する。

三浦町長答弁

受診率は県内でも低い状況にあり、健診を受けることの重要性を知っていただくことが必要と考える。

第20回臨時会

平成26年1月28日に臨時会を開催しました。町長からの案件として、2件が提出されました。

町長提出案件

工事請負契約の一部変更
2件

●五戸小学校校舎改築
工事

・変更後契約額(税込)
14億6967万円
597万円増額

●五戸小学校体育館改築
工事

・変更後契約額(税込)
6億9107万円
1907万円増額

平成25年12月定例会

議会傍聴者アンケート結果

1. あなたの性別は？

男性	女性
4人	1人

2. あなたの年齢は？

60歳代	70歳以上
2人	3人

3. 議会を傍聴したことがありますか？

初めて	3～5回
4人	1人

4. 議会広報「このへ議会だより」を発行していますが、ご覧になっていますか？

- (1) 毎号見ている 4人
- (2) ときどき見ている 1人
- (3) 知っているが、見ていない 0人
- (4) 知りませんでした 0人



5. 議会の日程を何で知りましたか？(複数回答)

- (1) 五戸ちゃんねる(テレビ) 2人
- (2) 五戸町ホームページ 1人
- (3) その他 3人(議会だよりなど)

6. 五戸ちゃんねる(テレビ)で五戸町議会の一般質問を放送していますが、見たことがありますか？

- (1) 見たことがある 3人
- (2) 見たことがない 2人
- (3) 知りませんでした 0人

7. 五戸町議会あるいは議会広報について、ご意見・ご要望などがありましたら、お書きください。

◎ 答弁は、簡潔明瞭にしていきたい。時間が長すぎる。

南部町議会議員の皆さんが傍聴に来ました

南部町議会では一般質問における一問一答方式の導入について検討しており、郡内で既に導入している五戸町議会を議員13人と事務局2人が傍聴に来ました。



研修会の様子

研修期間
平成25年10月1～3日

参加議員…和田議長、高山議員、川崎議員、松山議員、川村議員、沢田議員、古田議員、柏田議員、三浦(俊)議員

保健補導員発祥の地
視察先…長野県須坂市

保健補導員は、家族や地域の健康を守る事が女性の役割という、設立当初からの思想が現在も受け継がれ、女性だけの組織となっている。

選出方法は、各自治会長から推薦をうけるが、市からの委嘱ではなく、

健康づくりと健康長寿を視察

自主的な組織として活動している。

任期は2年で、再任はほとんどない。

毎月研修会を実施し、参加率は80%。

一般的な健康づくりから、健診の重要性や健診結果が表す身体の状態、

食育や自殺対策など健康について広範囲に学ぶため、任期を終えるころには、「健康のスペシャリスト」となり、学んだものを家族に伝え、さらに地域に広がっている。

健康長寿の取り組み
視察先…長野県佐久市

健康のまま天寿を全うする意味の「びん・ぴんころり」をキャッチフレーズに、生活習慣病予防の啓蒙活動を行っており、この事業には保健・医療・商工・観光など関係機関も参加し、市民の健康づくりを推進している。

市民を対象にピンピン講座を開催し、健康長寿食(びんころり食)や健康についての講話を実施し、市内全域を対象とした「びんころりステーション」を開設し、びんころり食の普及や健康相談・栄養相談などを行っている。

このびんころり食は減塩食で食生活改善推進員が調理実習をして伝達講習会を行っている。

また、最近ではびんころり(長寿)いろはかるたや健康長寿体操などを作り、健康長寿の取り組みを行っている。

長寿地蔵
(通称びんころり地蔵)

このお地蔵さんのグッズやお菓子なども販売されており、地域の活性化にもつながっている。



長寿地蔵

このお地蔵さんのグッズやお菓子なども販売されており、地域の活性化にもつながっている。

病院経営と合併処理浄化槽事業を視察

研修期間

平成25年10月7・8日

参加議員…大沢副議長、大久保議員、根森議員、鈴木議員、若宮議員、尾形議員、三浦(専)議員、中川原議員、中里議員

健全経営と地域密着型病院
視察先…秋田県横手市立大森病院

保健・医療・福祉が連携し、住民のために総合的なサービスを提供するため、地域包括医療を推進する拠点として平成10

年度に「健康の丘おもしろ」をオープンさせた。

これは、大森病院、高齢者等保健福祉センター、介護老人福祉施設、特別養護老人ホーム、居宅支援センターなどから構成されており、病院が中心的施設となっている。

大森病院では「夕暮れ診療」という午後5時から午後7時までの診察を行っている。

医師充足率は関連病院から研修医の受け入れをしており、119・0%と100%を超えている。

また、病床利用率は約99%と高い利用率となっている。

このほかにも院内保育所を開設するなど様々な事業を実施しており、経営は黒字となっている。

市町村設置型による合併処理浄化槽事業
視察先…秋田県藤里町

藤里町では生活排水事業について、平成8年に下水処理施設整備計画を策定し、特定環境公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽事業で整備した。

特に、合併処理浄化槽事業は市町村設置型で整備しており、町民の個人負担額が安く、設置後は町が管理することから適正な維持管理ができるものとなっている。

ただし、下水道と同様に使用料が発生する。



病院施設見学



汚泥処理施設見学

町村議会研修会

平成25年11月20日、青森市にて道州制に関する議員研修会が開催され、五戸町議会議員は11人が参加しました。

講演

「道州制のゆくえ」

中央大学大学院

教授

佐々木 信夫 氏



道州制とは

現行の都道府県制度を廃止して、9から13の道州につくり変えることです。

現在議論されている

道州制には権限移譲に関する明確な定義がなく、また、多くの案や提言があり、それぞれに、出てきた背景も、目的も違います。

メリット

- ・ 国の出先機関や県ごとに行っている業務の統合によるコスト削減
- ・ 特色ある地域の形成など

デメリット

- ・ 区域を広げると、住民の声が届かなくなる
- ・ 道州の間の格差が広がるのではないかなど

課題

いつ導入するのか。地域力に伴う格差、財政力格差をどう解決するのか。など、多くの課題が考えられます。

議員研修

平成26年1月22日、議会基本条例と中核市について研修を行い、14人の議員が参加しました。



議会基本条例は、青森市議会の議会基本条例検討委員会、小倉委員長から条例制定までの経過や議員の取り組みなどについて説明を受け、今後の取り組みの参考になるものとなりました。

中核市は、青森市企画調整課長から中核市移行に伴うメリット・デメリットや課題などについて説明を受けました。

産業廃棄物最終処分場建設計画現地視察

平成25年11月20日、浅水地区の産業廃棄物最終処分場予定地を視察しました。



宮城県丸森町議会運営委員会が五戸町議会を視察

平成25年11月11日、宮城県丸森町議会から議長、副議長、議会運営委員5人、事務局2人の計9人が五戸町議会を訪れ、議会運営と議会活性化の取り組みについて研修を行いました。

一般質問の一問一答方式や議会報告会、議会広報などについてお互いの議会で行っている方法の情報交換し、今後の取り組みの参考になるものとなりました。



三戸町議会運営委員会が五戸町議会を視察

平成25年11月27日、三戸町議会から議長、議会運営委員3人、事務局2人の計6人が五戸町議会を訪れ、議会報告会の取り組みについて研修を行いました。

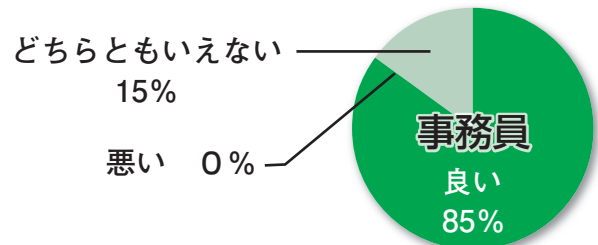
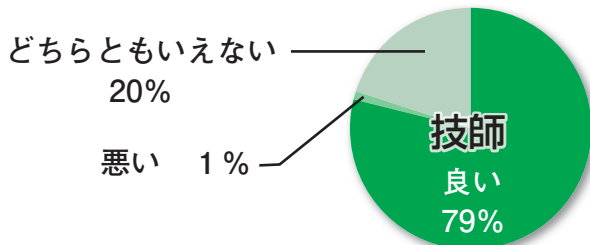
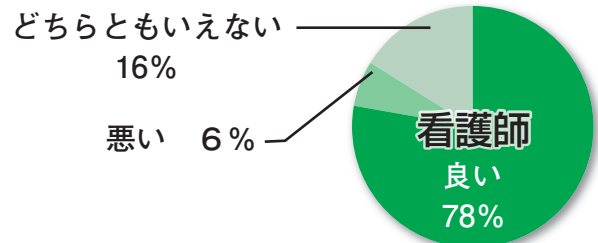
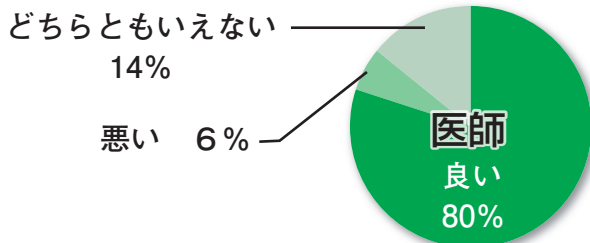
三戸郡内で議会報告会を実施しているのは五戸町議会だけのため、三戸町議会でも検討を始めるために視察に訪れ、当日行われた議会報告会も見学されました。



アンケート結果

平成25年10月に五戸総合病院を利用されている方々からアンケートにご協力いただきました。前号では、ご回答いただいた人数等をご紹介しましたが、今回はより具体的なご意見等をご紹介します。

職員の対応についてどう感じていますか？



五戸総合病院の良いと思うところ・悪いと思うところは？

○良いと思うところ

親切・やさしい・対応が良い・・・68人 通院しやすい・近くにある・・・26人
病院内が清潔・きれい・・・6人
少数意見として

- ・救急病院が地元にあるという安心感。
- ・地域に一つしかない総合病院である。
- ・診療科が多い。
- ・産婦人科がある。
- ・小児科は午後も診てもらえる。
- ・少しずつではあるが、改善されている。努力が見られる。

●悪いと思うところ

待ち時間が長い・・・53人 診察までの待ち時間。診察終了後から会計までの待ち時間。
医師の対応が悪い・・・22人 声が小さい、聞き取れない。聴診器を当てて診察しない。
看護師の対応が悪い・・・11人 態度、言葉が冷たい、きつい。
少数意見として

- ・常勤医のいない科がある。
- ・職員の態度が悪い。
- ・患者に対する親切が足りない。
- ・外と病院内の温度差があり過ぎ、夏は寒すぎる。病人が来ているのにちょっとひどい。

五戸総合病院についてのご意見・ご要望

- ・予約制にしてほしい。
- ・おおよその診察時間を知らせてほしい。
- ・不安をもって診察に来ているので、どのような治療をするのかなど丁寧な説明、患者の立場にたつての説明がほしい。
- ・ナイチンゲールの精神を病院全体で持ってほしい。
- ・午後も診療してほしい。土曜日でも診療をしてほしい。

多数のご意見ありがとうございました。
今後の委員会での検討課題とさせていただきます。

議会質問コーナー 今回は、委員会を特集します。

委員会とは？

議案の審査や陳情、特定の事件について調査などを行う議会の内部組織です。委員会には**常任委員会**と**議会運営委員会**があり、必要に応じて**特別委員会**を置くことができます。

五戸町議会の常任委員会は、**総務常任委員会**、**経済常任委員会**、**民生常任委員会**、**広報常任委員会**です。議員は必ず総務・経済・民生のいずれかの委員となります。

常任委員と議会運営委員の任期は**2年間**です。現在の委員は平成26年3月に任期満了となりますので、平成26年3月定例会で新たに委員が決まります。

特別委員会の任期は、それぞれの審査が終了し、議会において審議が終了するまでです。人数は、設置する特別委員会によって異なります。



委員会の役割は？

総務常任委員会(6人)・・・総務、税務、教育、選挙に関すること、他の常任委員会に属しない事項を担当します。

経済常任委員会(6人)・・・産業経済、土木建設に関することを担当します。

民生常任委員会(6人)・・・社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、高齢者医療、介護保険に関することを担当します。

広報常任委員会(7人)・・・議会広報に関することを担当します。

議会運営委員会(6人)・・・①議会の運営に関すること。

②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること。

③議長の諮問に関する事項について調査を行い、議案・陳情等を審査します。

予算特別委員会(全議員18人)・・・新年度当初予算を審査 ・3月定例会で設置

決算特別委員会(全議員18人)・・・決算を審査 ・9月定例会で設置

予算・決算特別委員会は公開しています。

3月定例会では予算特別委員会がありますので、ぜひ、傍聴に来てください。

五戸町議会では、これらの委員会のほかに、**活性化検討委員会**と**五戸総合病院検討委員会**を設置しています。

活性化検討委員会(7人)・・・町議会の活性化、情報公開、政策提言の推進などについて、調査、研究、協議を行います。

活性化検討委員会で調査、研究などをして実施した方が良いと判断されたことは、議長へ提言し、議員全員での協議をして実施しています。

活性化検討委員会で取り上げ、現在実施していること。

- ・議会広報の発行
- ・予算、決算特別委員会の公開(議場での開催)
- ・五戸ちゃんねる(五戸町ケーブルテレビ)での議会中継(一般質問)
- ・議会報告会の開催
- ・一般質問における一問一答方式の導入

五戸総合病院検討委員会(9人)・・・五戸総合病院の経営の改善や町民のための病院の実現について検討し、よりよい病院となるための提言を行います。



議会報告会の結果

3日間、町内9会場で51名が参加

2回目の議会報告会を開催いたしました。残念ながら前回よりも参加者が少なく、参加者0人の会場もありました。今後も、町民の皆さまのご質問・ご意見・ご要望等をお聞きし、町政や議会活動に反映させ、よりよい五戸町を目指していきます。

参加者及び質問、意見・要望等件数

日 程	会 場	参加人数	質 問	意見・要望等	合 計
11月27日(水)	町立公民館	16	10	7	17
	蛭川公会堂	8	5	1	6
	豊間内コミュニティセンター	9	10	4	14
11月28日(木)	切谷内公民館	0	0	0	0
	浅水活性化センター	7	9	8	17
	瑞穂館	0	0	0	0
11月29日(金)	石沢公民館	5	6	9	15
	倉石温泉	4	4	5	9
	倉石コミュニティセンター	2	0	6	6
計	9カ所	51	44	40	84

議会への質問、意見・要望等(抜粋)

Q：議会報告会に集まる人が少ないので、1か所でやったらどうですか。

A：町民の皆さまのご意見等を幅広くお聞きするため、小学校学区(倉石地区は旧学区)ごとに会場を設けて実施しました。

Q：ケーブルテレビの議会放映は、大変いいことだと思う。

A：ありがとうございます。今後も継続していけるよう、がんばります。

●今回ご紹介したほかにも多数のご意見をいただきました。
ありがとうございました。

今後の対応

- 質問、意見・要望等の詳細は、次号(第11号平成26年5月発行予定)で報告いたします。
- 議会に対する質問、意見・要望等は、各常任委員会へ振り分けて検討し、政策提言に生かしていきます。
- 町政に関する質問、意見・要望等は、内容を整理のうえ町長へ文書で提出し、結果を議会においても検討し、町政や議会活動へ反映させていただきます。

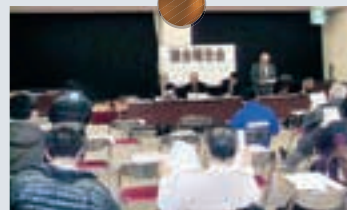
議会報告会の様子



豊間内コミュニティセンター
参加人数：9人



蛸川公会堂
参加人数：8人



町立公民館
参加人数：16人

参加者が
ありませんでした。

瑞穂館
参加人数：0人



浅水活性化センター
参加人数：7人

参加者が
ありませんでした。

切谷内公民館
参加人数：0人



倉石コミュニティセンター
参加人数：2人



倉石温泉
参加人数：4人



石沢公民館
参加人数：5人

編集後記

このへ議会だよりも早いもので第10号を迎えました。この間、広報研修会に参加したり、他自治体の広報誌を参考にしたりと、より良い広報紙作りに励んできました。委員会では、グラフは円グラフが良いか棒グラフが良いか、字の大きさは、1ページの段数は、等々基本的なことから討議を重ね、また、写真選びや一般質問の要約等多くの作業を重ねて作成してきました。

もちろん委員といっても広報紙に関しては全くの素人ですので、試行錯誤の繰り返しでしたが、回を重ねることに良くなってきたのではないかと思います。

さて、現メンバーでの議会だよりの作成は今回で最後となり、次号からは新メンバーでの作成となります。今までは違ったカラーになると思いますのでご期待ください。2年間ご愛読ありがとうございました。

委員長 根森 隆雄

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月6日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで
TEL 62-2111 (代表)
日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の広報は、
平成26年5月
発行予定です。

広報常任委員会

委員長 根森 隆雄
副委員長 高山 浩司
委員 大久保 均
委員 鈴木 繁盛
委員 若宮 佳一
委員 沢田 良一
委員 三浦 專治郎